

修学旅行記

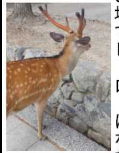
修学旅行から早くも1か月がたちました。楽しかった思い出を残しておこうと修学旅行記を作成しました。2つの秀逸作品を紹介します。

3年3組 I. Yくん



突如現れた緑。そこからまるでこの世にいないかのような雰囲気は伝わってきた。
 「噂には聞いていたがここまでとは！」一歩足を踏み入れた瞬間に言葉が失った。玉砂利が敷かれている参道を歩いて行くと立派な牛が現れた。北野天満宮では牛は神の使いとされており、境内のあちこちに牛の像が見られる。その中でも私達が目にした牛は「撫で牛」と呼ばれており撫でると『諸病平癒』『学業成就』のご利益があるとされている。ご利益を得ようと撫でたところ、これまでに数多くの方が撫でてきたのだろう冷たいながらもその中に温かみを感じることができた。
 そして、三光門をくぐると、目の前には「茅の輪」と呼ばれる大きな縄が現れた。茅の輪は、くぐることで元日から今日までの汚れを払ってくれるという。みんなまでこれからの幸せを願いしっかりとした作法でくぐった。
 茅の輪をくぐるというよい本殿が目の前に広がった。一人ひとりが自分の受験に備えてしっかりとお願いをし、お守りを買った。なんだか今までの自分とは違う強い自分に生まれ変わった気がした。
 天神の あふれる才の 師事をして
 まだ見ぬところへ 我を新たに

3年4組 N. Aさん



シカとの格闘
 「キャー！！！！！！！！！！」
 お土産を選んでいると、店前から女の子の悲鳴が聞こえた。急いで会計を済ませて店を出ると、そこには、しおりを啜えたシカがいた。そのしおりは、悲鳴を上げた女の子のものようだった。
 「これはまずいぞ」と、私は思った。もし、シカが消化不良になったりもしたら大変だからだ。私は考える間もなくシカの元へ行き、しおりを掴んだ。
 シカの力は強く、何度も身体が引っ張られた。周りからは「危ないよ！」「離れたほうがいい！」という声も上がっていたが、それでも私はしおりを取り返そうと奮闘した。けれど、私一人の力では大きな体のシカに敵うはずもなく、数分間シカとの綱引きが続いた。
 どうしようかと思っていたとき、そこに、救世主が現れた。それは同じ班のOくんだった。私達は精一杯力を込めて引っ張った。しおりを掴んでいる手も限界に近かったその時、
 ベリベリッ！
 という音と共に、体が軽くなった。しおりの奪還に成功したのだ。私の手元には、ポロポロになったしおりがあった。
 「すごい！」「あの子誰！？」そんな声が聞こえた私は、小っ恥ずかしい気持ちになった。
 ただ、間違いなく私は、あの時あの場でヒーローになったと思う。

SOSの出し方授業

ストレスの多い現代社会で、なかなかSOSを出せないでいるうちに状況が悪化してしまうケースも少なくありません。

適度なストレスは、力を発揮できても継続的だったり強いものだったりすると立ち直れなくなってしまいます。

今回の授業は、佐藤スクールカウンセラーに助言をいただきながら、自分自身のストレスを上手にコントロールし、発散できるような方法を学びました。



↑先生とU先生によるロールプレイ

7月の予定

日	曜	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	行事・その他
12日	火	1	2	3	4	5	6	古紙アルミ缶回収、S校時、清掃なし、部活なし
13日	水	1	2	3	4	5	6	英語村
14日	木	1	2	3	4	5	6	
15日	金	1	2	3	4	5	6	S校時、清掃なし、部活なし
19日	火	1	2	3	4	5	特別清掃	ワックスがけ

7/18「海の日」は、海の恩恵に感謝するとともに、海洋国家日本の繁栄を願う日として1996年から祝日となった。